



とうい ただよし しせいしんふうかい
東井 忠義 〔市政新風会〕



税金の無駄づかいについて

問 2月21日、副市長2人制について、「2人以内」と決議されたことで、今一度議論する。鯖江市の人口規模や現状では、4年間で6千数百万円追加でかかる副市長2人制は必要がない。市長として無駄づかいと思わないのか。

答 市長 無駄づかいとは全く思っていない。現在、即座に対応しなければならない大きな課題が続く中にある。例えば嚮陽会館の複合交流施設の整備、神明苑の在り方検討、二次交通の確保、観光資源の磨き上げや効果的なPRなど、目の前には持続可能な市政運営を図る上で課題が山積をしており、早期に解決を図らなければならない。

問 それらの課題への対応は、通常業務として副市長1

人制でできるし、しなければならない。副市長2人制の導入は、多くの市民の意思に反しているのではないかと。

答 市長 御理解をいただいている市民の方も多くいらっしゃるという認識である。

問 選挙半年前に副市長を2人にして、女性を副市長に据えろとのことだが、これは選挙対策ではないのか。通常は選挙公約に挙げ、当選してから副市長2人制に移行するものである。

答 市長 議員が言う選挙対策というものが何を指しているのか、分からない。

意見 JR鯖江駅東口整備の見直しで6千万円無駄にするなど、無駄づかいが続いている。鯖江市の行く末が心配される。

【その他の質問】

・子どもの貧困 ・産後うつと育児休業取得 ・福祉総合相談室の役割



えばた かすたか ゆい かい
江端 一高 〔さばえ結の会〕



本市の財政状況と方針について

問 本市にも少子高齢化、人口減少が到来しており、今後、借金の増加は避けられないのではないかと。それならば市民ファースト、住民利益優先の実利を実感できる施策に重点配分すべきではないかと考えるが、どのように市民の期待に応えていくのか。

答 市長 本市の財政状況は非常に良好だが、これは様々な公共施設の老朽化への対応が本格化し始める直前だからこその状況である。令和7年度以降、同時期に多くの公共施設の長寿命化改修が行われる状況であり、これまでのように借金を返す以上に借りないと、プライマリーバランスを保つことは非常に難しい局面に入っていくと

の認識でいる。そのような中、「ふるさと納税」といった自主財源の獲得に力を入れることで収支のバランスを図りながら、身の丈に合った範囲で将来的に大きなツケを残さない、回さないことを考えながら必要な事業を行っていききたい。予算編成においても国、県等の補助財源、交付税措置のある優良債の活用など財政負担を減らすための努力も行い、本市の目指す将来像の実現に向けて市政運営に取り組んでいきたい。



収支バランスを図り市民ファーストの政策を

一般質問を見よう！

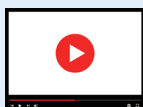
市役所の議場で

鯖江市議会、市役所の議場で傍聴することができます。



YouTubeで

YouTubeの鯖江市議会チャンネルで、動画を配信しています。
＊右のQRコードまたは各議員の質問欄に掲載のQRコードを読み取ることで視聴できます。



こしの都TV9チャンで

こしの都TV9チャン(旧:丹南ケーブルテレビ)で生中継・録画放送を行っています。



会議録で

鯖江市議会の会議録検索ページから、会議録の閲覧ができます。
＊掲載までに時間がかかる場合があります。順次掲載いたしますので、ご了承ください。